

こどもまんなか市民会議及びこども部会からの
「あったかいまち みうら」への提言書

令和8年3月

三浦市こどもまんなか市民会議

目 次

1	はじめに	1
2	提言の考え方（背景と整理）	1
3	提言内容	2
4	おわりに	4

資料編

1	こどもまんなか市民会議とは	5
2	令和6、7年度のこどもまんなか市民会議及びこども部会の開催状況	6
3	こどもまんなか市民会議及びこども部会からの主な意見	7

1 はじめに

この提言書は、こどももおとなも暮らしやすいあったかいまちづくりを目指して、こどもとこどもに関わるおとなの意見を幅広く聴取する機会を創出するとともに、その意見を共有し、市政に活かすことを目的とした「こどもまんなか市民会議」及び「こども部会」で出た、こどもや市民のみなさんの声をもとに、市に伝えたい要望をまとめたものです。

三浦市は、海や自然に恵まれ、人と人との距離が近い、あたたかいまちです。しかし、少子高齢化や生活の変化の中で、こどもたちの遊び方や学び方、地域との関わり方も変わってきています。こどもたちが安心して暮らせる環境を整えることは、これからの三浦市にとってとても大切な課題です。

会議では、「どんな三浦市に住みたいか」「どんな場所や時間があると安心できるか」などについて、こどもと大人が一緒に話し合いました。そこから見えてきたのは、「毎日の暮らしをもう少し良くしたい」という素直で切実な思いです。

私たちは、この思いを三浦市のまちづくりにしっかり反映してほしいと考えています。こどもにとって暮らしやすいまちは、誰にとっても暮らしやすいまちです。そんな「あったかいまちみうら」を目指して、5つの提言をまとめました。

2 提言の考え方（背景と整理）

会議や部会では、三浦の自然の良さ、人とのつながりの大切さ、遊びや学びの場への期待など、たくさんの意見が出ました。また、アンケートからは、こどもや若者が「遊びや体験の機会が足りない」と感じていることも分かっています。

私たちは、建物や施設を増やすだけでなく、こどもが毎日の生活の中で安心して過ごし、自分らしく成長できる環境を、市が計画的に整えていくことを望みます。そのための考え方を、次の5つの視点に整理しました。



3 提言内容

(1) 三浦の自然・地域資源を、こどもの成長につなげる

三浦市の海や自然、農業、地域の仕事や文化は、こどもにとって大切な学びの場です。自然の中で遊んだり、地域の人と関わったりする経験は、学校だけでは学べない力を育てます。

こうした三浦らしい資源を、観光や産業だけでなく、こどもの日常や学びにももっと活かしてほしいと考えます。それは、三浦への愛着を育て、将来のまちを支える人を育てることにもつながります。

【主な意見（抜粋）】

- ・ 海の音を聞くと気持ちが落ち着く
- ・ 三浦の海や自然を活かしたまちづくりを進めてほしい
- ・ 自然を活かした収穫体験や体験活動ができるとよい
- ・ 海や公園など、自然の中で自由に過ごせる環境がほしい
- ・ 自然の中で体を動かすと気持ちが整う

(2) こどもが過ごし方を選べる環境を整える

こどもには、静かに過ごしたい日もあれば、思いきり遊びたい日もあります。落ち着いて勉強できる場所と、自由に遊べる場所の両方が必要です。

公共施設や地域の場所をうまく使いながら、こどもが自分で過ごし方を選べる環境を、まち全体で増やしてほしいと考えます。

【主な意見（抜粋）】

- ・ 静かで勉強できる場所がほしい
- ・ 一人で落ち着いて過ごせる時間や環境が必要
- ・ 友達と気軽に遊べる場所がほしい
- ・ 体を動かせる場所、ボール遊びができる場所が少ない
- ・ 天候を気にせずに遊べる室内の環境がほしい
- ・ 中学生でも利用できる場所が少ない

(3) 発達段階に応じた学びと体験を広げる

こどもの年齢や成長段階によって、必要な体験や関わり方は違います。それぞれの時期に合った学びや交流の機会を用意することが大切です。

学校だけでなく、地域や民間、市民活動とも協力して、三浦市全体でいろいろな体験の場を広げてほしいと考えます。

【主な意見（抜粋）】

- ・ 乳幼児同士が集まれる機会や場がほしい
- ・ 年の近いこども同士で交流したい
- ・ 幼少期から様々な体験をすることが大切
- ・ 中高生の集まれる場や活動の選択肢が少ない
- ・ 不登校のこどもも利用できる環境が必要

(4) こどもを支える人とのつながりを大切にする

こどもにとって、話を聞いてくれる人、理解してくれる人の存在はとても大きな支えです。家族、友達、先生、地域の大人とのつながりは、安心して成長するための土台になります。

制度だけに頼るのではなく、地域の中で人と人がつながり、こどもを見守る関係をもっと広げてほしいと考えます。

【主な意見（抜粋）】

- ・ 話を聞いてくれる人がいると安心する
- ・ 理解してくれる、信用できる人と一緒にいたい
- ・ 親や家族、祖父母の存在が落ち着く
- ・ 困ったときに相談できる大人や友達が必要
- ・ 近くに親のような存在がほしい

(5) 安全で安心できる生活基盤を整える

通学路や公園などの安全は、こどもが安心して生活するための基本です。

こどもの目線でまちの安全を見直し、高齢者や地域の人にとっても安心できる環境を優先して整えてほしいと考えます。

【主な意見（抜粋）】

- ・通学路が暗い、狭い、危ない
- ・街灯が少なく、夜間の外出が不安
- ・歩道がデコボコしていて歩きにくい
- ・安全な場所で遊びたい
- ・部活動の帰り道が不安で遠回りしている

4 おわりに

この提言書は、こどもと市民が一緒に考えた「これからの三浦市への要望」をまとめたものです。ここに書かれているのは、日々の暮らしの中から生まれた身近で大切な声です。

市には、この提言をしっかりと受け止め、できるところから行動に移してほしいと願っています。こどもも大人も安心して暮らせる「あったかいまち みうら」が実現していくことを期待しています。



資料編

1 こどもまんなか市民会議とは

(1) 趣旨

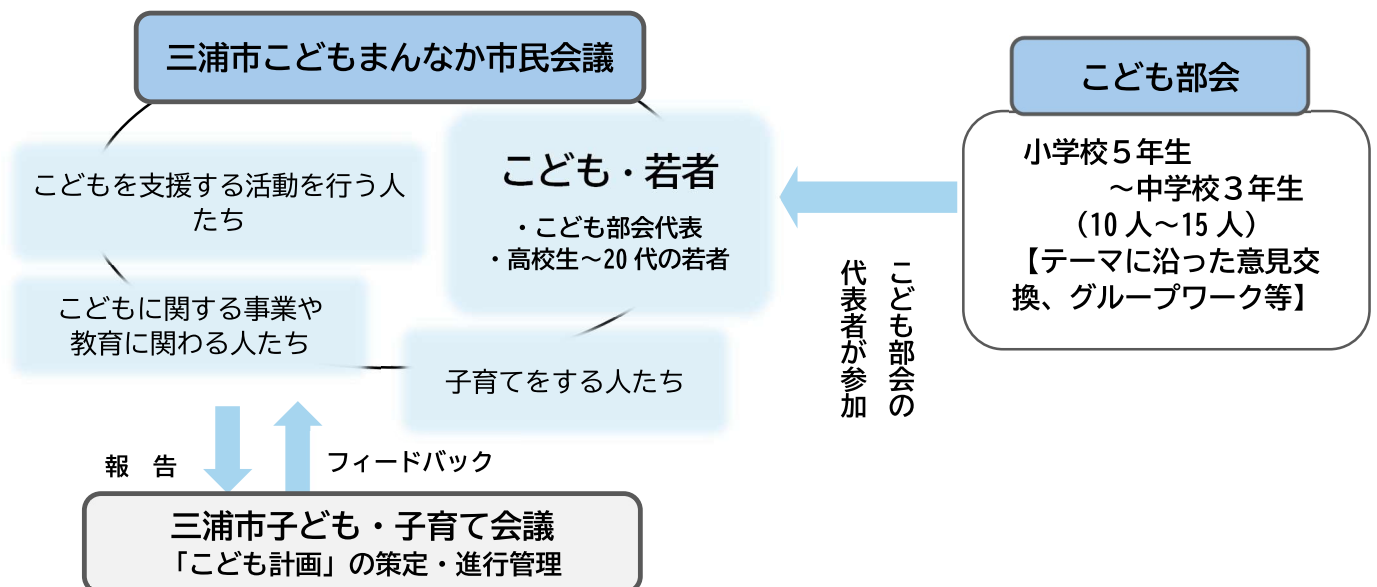
こどももおとなも暮らしやすいあたたかいまちづくりを目指して、こどもとこどもに関わるおとなの意見を幅広く聴取する機会を創出するとともに、その意見を共有し、市政に活かすことを目的として実施しました。

(2) 構成員

- ① こども部会：小学生～高校生 15 名
 ② こどもまんなか市民会議：以下のとおり 16 名

	項目	所属	人数
1	こどもの代表	こども部会代表	3 名
2		高校生	1 名
3		20 代若者	1 名
4		未就学児の保護者	2 名
5		小学生の保護者	1 名
6	こどもを支援する団体の代表	子育て応援・こども応援ネットワーク	2 名
7		子ども会指導者連絡協議会	1 名
8	こどもに関わる事業を行う事業者等の代表	市内保育園	1 名
9		市内幼稚園	1 名
10		市内放課後児童クラブ	1 名
11		市内療育関係事業者	1 名
12	教育関係者の代表	市内小中学校教諭	1 名

(3) イメージ



2 令和6、7年度のこどもまんなか市民会議及びこども部会の開催状況

開催日時	会議・部会	議題
令和6年 7月26日（金曜日）	令和6年度 第1回こども部会	（1）オリエンテーション （2）ワークショップ 【テーマ】 未来を語ろう 将来どんな三浦市に住みたいか
8月22日（木曜日）	令和6年度 第1回三浦市こどもまんなか市民会議	（1）こども基本法～こども計画～について （2）三浦市のこども施策について （3）こども部会からの意見発表 （4）意見交換
令和7年 2月19日（水曜日）	令和6年度 第2回三浦市こどもまんなか市民会議	（1）三浦市こども計画について （2）ニーズ調査結果、市の現状について （3）意見交換（ワーキング） 【テーマ】 ① 三浦市のこどもを取り巻く状況に関して思っていること、気になるところ ② 来年度の「こどもまんなか市民会議」「こども部会」のテーマ等について
8月27日（水曜日）	令和7年度 第1回こども部会	（1）オリエンテーション （2）こどもまんなか市民会議、三浦市こども計画について （3）ワークショップ 【テーマ】 ① 魅力あるまちって、こんなまち！！ ② どんな居場所（遊び場）がほしい？
11月7日（金曜日）	令和7年度 第1回三浦市こどもまんなか市民会議	（1）こども部会からの報告 （2）意見交換（ワークショップ） 【テーマ】 ① 三浦市における「こどもの居場所」について
令和8年 3月26日（木曜日）	令和8年度 第2回三浦市こどもまんなか市民会議 （こども部会合同開催）	（1）提言書の内容について （2）意見交換

3 こどもまんなか市民会議及びこども部会からの主な意見

【令和6年度第1回こども部会 主な意見】

テーマ：「未来を語ろう 将来どんな三浦市に住みたいか」

- ・海の安全を考慮しつつ、三浦市の海を活かした町づくりを進めていきたい。
- ・観光客を増やしていきたい。
- ・三浦市の良さを宣伝、発信していく。三浦の魅力を知ってもらってこそ、三浦に来てくれる。宣伝をしていく。
- ・三浦の人と人との交流を増やしていく。
- ・三浦の自然を生かした収穫体験や工場見学ができればいい。
- ・海沿いの遊歩道が短い。海もきれいだから、もう少し伸ばして歩きやすくする。
- ・災害で、土砂崩れなどの情報や、津波が来た時に守ってくれる壁の設置ができればいい。
- ・三浦の自然、植物、魚などを活かした商品などをつくる。三浦に朝市もあるので、三浦市のいいところをSNSで広めて、よりよくしていきたい。
- ・道路を整備したり、街灯を増やしてほしい。歩行者や車が通りやすい道を作してほしい。
- ・子どもが気軽に行ける遊び場が欲しい。
- ・子どもが楽しめる映画館や美術館など、気軽に行ける場所があればいい。
- ・三浦市は人口が減って、市が消滅してしまうという話があるので、人口が増えるためには、住民や子どもの意見を取り入れて、活用をしてくれている町がいい。

【令和6年度第1回三浦市こどもまんなか市民会議 主な意見】

テーマ：こども部会からの報告を受けての意見交換

●地域交流

- ・地域の人と交流できるイベントを増やす。
- ・三浦市の子どもに三浦市について知れるようにしてほしい。
- ・学校が交流の場になってほしい。
- ・避難訓練に地域の方や保護者の方に来ていただき、訓練に参加して中学生と交流してほしい。
- ・三浦市の良い所の授業が少ない気がする。マグロの解体や大漁旗を作る等。
- ・子どもの子育てについて気軽に相談できる場所。

●まちづくり

- ・自然と子育て環境が良くて移住してきた母親がいるので自然を活かした案がいい。
- ・都会にあるものを導入するのではなく、三浦市の良い所をアピールすることが大事だと思う。
- ・子育ての情報・支援を必要な人に届くようなSNS活用をしてほしい。
- ・道路がガタついていてベビーカーが引っかかる。
- ・上宮田地区の公園が管理されていない。
- ・三崎口より先に電車を伸ばしてほしい。
- ・電車やバスの本数を増やしてほしい。
- ・休日夜間診療、医療対応の充実。救急車が不足している。

- ・産科の緊急対応の受け入れ態勢が不足しているように感じる。
- ・里帰り出産の方への配慮を考えていただきたい。タクシー券などは使えないことがある。
- こどもの居場所・遊び場
 - ・海をテーマにした遊べる場所を作ると同時に屋内で遊べる場所が欲しい。
 - ・乳幼児の子と親御さんが安心して遊べる場が欲しい。
 - ・市役所や図書館も観光客に来てもらえる、複合的な視点で施設・建築物を作らないといけない。

【令和6年度第2回三浦市こどもまんなか市民会議 主な意見】

テーマ1：三浦市のこどもを取り巻く状況に関して思っていること、気になるところ

- 子どもの遊び場について
 - ・子どもが遊んでいる姿が見られない、ボールを使える場所がない
 - ・子ども同士の関わりが少ない
 - ・中学生でも遊べる場がほしい
 - ・遊び場が少なく、楽しめなく、SNS等によってしまっている
 - ・公園の見た目、使いやすさが年々、低下していると思う
 - ・市全体でボランティアや、イベントを行い、安全に遊べ、楽しめるようにするべき
- 市民や子どもが集まれる場所
 - ・親や友人以外でも子どもを預けられる施設があればよい
 - ・地域住民や子どもが集まれる場
 - ・中高生の集まれる場・遊べる場があるとよい。コワーキングスペース(大人の目が届く場)
 - ・複合商業施設(ショッピングモール等)の必要性 市民の憩いの場
- 子どもへの支援について
 - ・三浦市の良さを知ってもらえる留学制度があったらいい
 - ・高校、大学、専門学校などの進学や就職における三浦市という選択肢はあるのか
 - ・学生へのコミュニティバスやフリーパスで子どもの時間をつくってあげる
 - ・他校との交流 子どもの関わり
 - ・自分から調べてタブレットを使える楽しめる学習 →集中力が上がる
 - ・幼少期から学校でいろいろな体験をする 体験学習から学ぶことが多い
 - ・三浦市の学力が低いから子どもが興味をもつ勉強方法が出るといいと思う。
 - ・図書館で借りられる本の冊数が横須賀と比べて少ない
 - ・放課後の過ごし方
 - ・子どもが巻き込まれる犯罪、大人の信用低下
- 親に対しての支援について
 - ・困っている親の相談窓口
 - ・地域のつながりが心配。
 - ・本当は助けてもらいたいが、どのようにすればよいか。
 - ・子ども会がなくなった。先輩ママから情報が得られない
 - ・発達支援の周知
 - ・教育にかけけるお金を増やしてほしい

●今後の学校の在り方

- ・学校の合併問題どうなるか不安
- ・子どもが少ないと選べる友達も少ない
- ・部活やクラブの減少
- ・地域との関わりが増える取り組みが必要
- ・学校をもっと皆さんに使ってほしい(知ってほしい)
- ・いじめをやめる対策をしてほしい

●インフラの整備について

- ・通学路が暗い、狭い、危ない
- ・信号機がない(通学路) 横断歩道が少ない
- ・道路(歩道)がデコボコであったり、石がとがっていて歩きにくく転ぶと危ない

テーマ2：来年度の「こどもまんなか市民会議」「こども部会」のテーマ等について

- ・理想の遊び場は？
- ・どのような遊び場が必要か？
- ・どのようなイベントがほしい？
- ・大人になって、自分が三浦に住むためには何があれば良い？
- ・三浦に何が足りないと思う？
- ・三浦に何を残してほしい？
- ・大人に何を求めているか？
- ・三浦市で働きたい仕事は？
- ・子どもの目線で魅力のある町にするには？
- ・いじめ、不登校を減らすにはどのような対策が必要だと思いますか？

【令和7年度第1回こども部会 主な意見】

テーマ：「魅力あるまちって、こんなまち！！」

魅力ある三浦市とはどのようなまちかを地図の上で描いてみました。

三浦市をイメージした地図の上に、『魅力あるまち』を想像しながら、準備した様々なイラスト集からイラストを選び、切り貼りをしました。また、そのまちの中で、どのような会話がされているかなどを吹き出しに書きだしながら、『魅力あるまち』をイメージ化しました。



テーマ：「あなたにとっての居場所とは？～ほっとできる場所・時間・人を考えてみよう

●ほっとできる「場所」について

- ・ チェルシーの学習室(静かで勉強できる場所)
- ・ 涼しくて静かな勉強できる場所
- ・ 部活動
- ・ 友達と気軽に遊びに行ける場所があったらいい
- ・ おばあちゃんの家とお父さんのふとんが落ち着く
- ・ 海の音をきくと嫌な事がかき消される
- ・ 映画館

●ほっとできる「時間」について

- ・ 家で何も考えずにボーッとしているとき、くつろいでいるとき
- ・ 自分の部屋に1人でいるとき
- ・ 静かな場所で1人で本を読んでいるとき
- ・ 楽器、運動をしているとき
- ・ 家で飼っている猫を撫でているとき
- ・ 家の中で1人でやりたい事をやっているとき
- ・ 1番仲のいい友達と遊んでいるとき
- ・ 人と話しているとき(友達でも家族でも)
- ・ 1人で外出して好きなことをするとき
- ・ 部活中(周りと楽しく)
- ・ 人に褒められているとき
- ・ 家族でごはんを食べているとき
- ・ 自分の話をしっかり聞いてくれるとき
- ・ 友達と他愛もない話をするとき

●ほっとできる「人」について

- ・ 両親
- ・ 学校などで困ったことがあるときに聞いてくれる人
- ・ 自分が信用している人と一緒にいるとき
- ・ 理解して話を聞いてくれる人
- ・ 相談ができる友達や家族

【令和7年度第1回三浦市こどもまんなか市民会議 主な意見】

テーマ：「三浦市における『こどもの居場所』」

乳幼児期～小学生

●みうら市としての居場所

- ・ 引越しをしてきた人が交流の場があると良い
- ・ 同じマンション内のご近所の方との交流
- ・ 市内の年の近い子と関わり、交流が欲しい(小～幼)

●人

- ・ 近くに親みたいな人が欲しい(乳)
- ・ 話す人、遊ぶ人がいるとよい(幼～小)
- ・ 親身に乘ってくれる身近な人が欲しい(主に小5～6女子)

●場所

- ・ 「みまぐっこ」の様に0才同士が集まれる場所(乳)
- ・ 楽しい大人、おもしろい大人の姿を見せられる場所(全世代)
- ・ 面白い遊具が欲しい→動くとスッキリ落ち着く(幼～小)

- ・みんなが好きな事を好きなように出来る様な場所（海・公園など）（小～）
- ・友達と“たむろ”できる場所
- ・チェルシーで勉強（小）
- ・室内で遊べる場所（天気を気にせずに、遊べる場所）（幼）
- ・ゲームセンター、サイゼ、フードコート、ボウリングなど気軽に遊べる場所（小）
- ・いろんなアトラクションイベントができる場所（小）
- ・好きに遊べる広場（ボール遊び等）（小）

●時間

- ・スポーツしている時、体を動かしている時（）
- ・本を読んでいる時（落ち着くので場所ももっと欲しい）（幼～小）
- ・楽しく遊んでいる時（一人・兄弟・友達）（幼）

中学生～若者

●アウトドア

- ・周りを気にせず遊べる公園、遊具が多い広い公園
- ・芝生で遊べる場所

●インドア

- ・ゲームができる場所
- ・学校外で通える場所
- ・不登校の子たちも行ける場所
- ・児童館（漫画も読める）や多目的図書館
- ・寝れる場所

●海

- ・イベント広場でイベントを開催
- ・映えスポットを学生がつくる！
- ・映えスポットを分かりやすくするため看板や地図をつくる
- ・写真とる用のスマホスタンド
- ・温泉

●娯楽

- ・ボウリング場
- ・アウトレットショッピングセンター

●落ちつく場所

- ・人が少ない場所
- ・学校
- ・家

●安心

- ・街灯が少ない
- ・安全な場所
- ・歩道がせまい
- ・部活の帰り遠回りして帰っている